

2022 年度近畿本部化学部会活動報告と 2023 年度計画

近畿本部化学部会長 伊藤雄二

1. 2022 年度（昨年度）活動報告

昨年度は、感染症収束と変異株の出現とが繰り返されて、会員の皆様にはいろいろと戸惑いにご苦労されたと思います。今年度は収束にともなう法令改正等も予定されており、本来活動の C P D 行事のレベルアップと交流の機会増大に努めてまいります。なお、開催形式は、T W（テレワーク）式併用型を基本とします。

昨年度の年度講演企画テーマに取り上げました「技術士全国大会（奈良）行事への参画（新規）」の活動方針に対しては、統括本部の化学・繊維・金属の 3 部会と共催する形で合同講演会を全国大会の期間中に現地にて開催することができ、会員 H P に録画録音を、機関誌「技術士 P E」3 月号に掲載も済ませることができました。

「物質エネルギーへの化学技術力の発信（継続）」の活動方針に対しては、1 2 月例会にて炭酸ガス制御テーマ 1 件、カーボンリサイクルについての勉強会テーマを設備管理学会の研修会にてその勉強の成果を披露できました。

主な事業活動である C P D 講演会・見学会・勉強会は、開催回数は 5 回と前年度より 4 回減少しました。主な要因は、勉強会の開催形態を化学物質管理研究会の傘下にいれて全国的な展開に切り替えた関係で、勉強会開催分を回数に計上しなかったことによるものです。代わりに研究会（統括）での開催のうち 2 回分を近畿支部主催に切り替え、実質的に化学部会幹事で運営をする共催形式にしました。見学会や懇親会などの行事は、感染収束の見極めが出来ず企画・開催は見送りました。

参加者数は、全国大会関連や研究会で計上する分を除いた C P D 講演会 4 回 7 8 名（会員 6 9 名）に共催研修会 2 回 4 5 名を加えると開催総数は 6 回、参加者総数は 1 2 2 名でした。なお、昨年度は 9 回開催で参加総数は 1 5 4 名でした。

幹事会活動は、部会活動の充実を図る活動方針（継続）のもとに実施しました。

1) 部会事業の充実に向け企画・運営を強化

企画では、講演企画への幹事の役割とグループ化の試み

会計では、部会長兼務を継続し、副担当に業務引継ぎの試み

報告では、H P 掲載業務チェックへの総監の役割とグループ化の試み

2) 協会・団体に発信し社会貢献に寄与

研修会への講師（web）2 名派遣（日本設備管理学会つなぐ研究会様）

3) 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実

全国大会（奈良・関西）への協賛

2. 2022年度会計収支報告（HP 掲載は割愛）

- ・ 会計監査報告、2022 年度会計収支報告

3. 2023年度活動方針

- ・ 部会事業の充実に向け企画・運営を強化
- ・ 協会・団体等に発信し社会貢献に寄与
- ・ 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実
- ・ 講演企画テーマ
 - * 物質エネルギー・化学技術力の発信（継続）
 - * マテリアルイノベーション（新規）

4. 2023年度幹事会メンバー一覧

- | | | | |
|---------|------------|-----------|---------------|
| ・ 伊藤雄二 | 部会長 | 近畿本部幹事 | 化学部会（統括）幹事 |
| ・ 齋藤俊 | 副部会長 | 合同部会幹事 | 技術士活性化委員 |
| ・ 高岡直樹 | 副部会長 | 会計幹事 | MOC S 研近畿支部幹事 |
| ・ 藤橋雅尚 | 報告・監修担当 | | |
| ・ 堂動剛 | 企画担当 | | |
| ・ 和田信之 | 企画担当（兼） | 副会計幹事 | |
| ・ 久保田正博 | 企画担当 | | |
| ・ 橋本隆幸 | 報告・監修担当 | | |
| ・ 出口義国 | 企画・報告・監修担当 | | 地域連携強化委員 |
| ・ 中田将裕 | 企画・報告・監修担当 | | |
| ・ 末吉俊信 | 顧問 | （委嘱）業務監査役 | |
| ・ 喜多雅巳 | 会計監査 | | |

以 上